

資料2

令和元年度病院事業会計決算振り返り

病院局経営企画課

経営支援パートナー(千葉県病院経営支援共同企業体)

- 令和元年度振り返り

- ✓ 全体

- ✓ 青葉病院

- ✓ 海浜病院

令和元年度は前年度に対して医業収益で6.9億円、医業収支で4.9億円の改善が見られた。
 医業収支は予算に対して＋7.6億円と大幅に予算を超える改善を示した。
 第4期プランの目標である経常収支黒字化を達成できた。

（単位：百万円、税込）

	R1		H30				R1 予算			
	実績	構成比	実績	構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業収益	16,362	100.0%	15,671	100.0%	4.4%	691	16,095	100.0%	1.7%	267
入院収益	11,552	70.6%	11,098	70.8%	4.1%	454	11,411	70.9%	1.2%	141
外来収益	4,433	27.1%	4,241	27.1%	4.5%	192	4,352	27.0%	1.9%	81
その他	341	2.1%	322	2.1%	5.8%	19	332	2.1%	2.7%	9
医業費用	20,881	127.6%	20,680	132.0%	1.0%	202	21,370	132.8%	-2.3%	▲489
職員給与費	10,904	66.6%	10,717	68.4%	1.7%	186	11,387	70.8%	-4.2%	▲484
材料費	4,287	26.2%	3,790	24.2%	13.1%	497	3,964	24.6%	8.2%	323
薬品費	2,866	17.5%	2,400	15.3%	19.4%	466	2,585	16.1%	10.9%	281
診療材料費	1,408	8.6%	1,375	8.8%	2.4%	33	1,358	8.4%	3.7%	50
経費	3,957	24.2%	3,960	25.3%	-0.1%	▲2	4,220	26.2%	-6.2%	▲263
報償費	451	2.8%	448	2.9%	0.6%	3	444	2.8%	1.5%	7
委託料	2,347	14.3%	2,390	15.3%	-1.8%	▲43	2,459	15.3%	-4.5%	▲112
その他経費	1,160	7.1%	1,122	7.2%	3.4%	38	1,317	8.2%	-12.0%	▲158
減価償却費	1,633	10.0%	2,116	13.5%	-22.8%	▲483	1,665	10.3%	-1.9%	▲32
資産減耗費	22	0.1%	16	0.1%	41.8%	7	27	0.2%	-16.6%	▲4
研究研修費	78	0.5%	81	0.5%	-4.5%	▲4	107	0.7%	-27.1%	▲29
医業収支	-4,519	78.4%	-5,008	—	-9.8%	489	-5,275	—	-14.3%	756
医業外収益	5,260	—	5,559	—	-5.4%	▲299	5,626	—	-6.5%	▲366
医業外費用	399	—	396	—	0.6%	2	436	—	-8.6%	▲37
経常収支	342	—	154	—	121.4%	188	-85	—	-502.4%	427
修正医業収支 ※	-2,804	—	-2,816	—	-0.5%	13	-3,531	—	-20.6%	727
広義人件費（給与費＋報償費＋委託費）	13,701	83.7%	13,555	86.5%	1.1%	146	14,290	88.8%	-4.1%	▲589

※ 修正医業収支＝医業収益－（医業費用－減価償却費－資産減耗費－その他除外費用（あり方））

	R1 実績	H30 実績	前年差	R1 予算	予算差
医業収支比率	78.4%	75.8%	2.6%	75.3%	3.0%
経常収支比率	101.6%	100.7%	0.9%	99.6%	2.0%
修正医業収支比率	85.4%	84.8%	0.6%	82.0%	3.4%

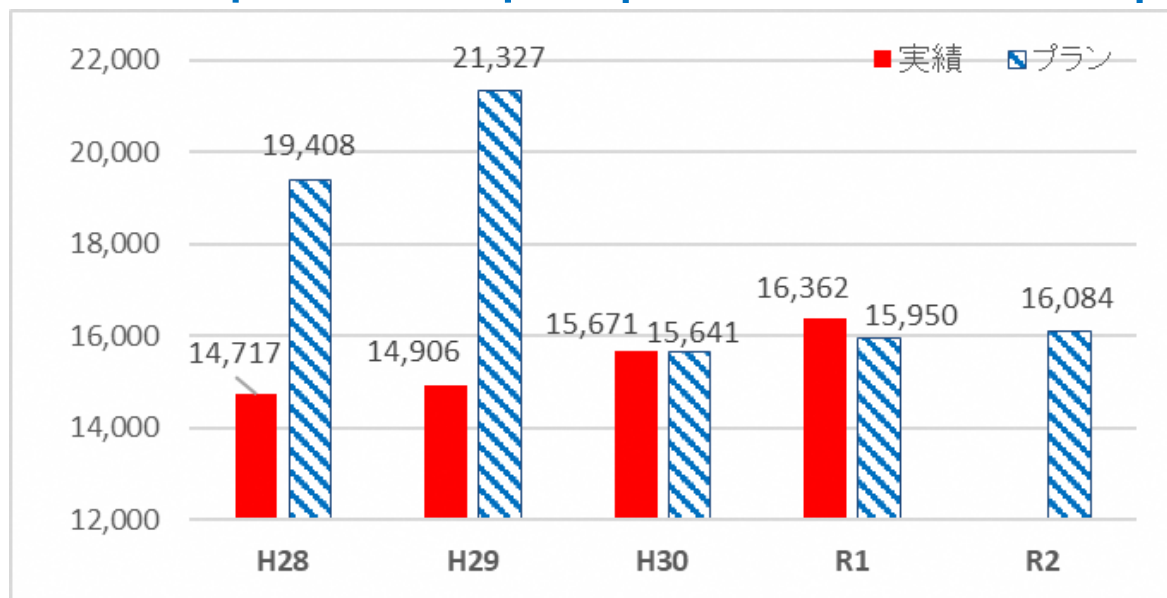
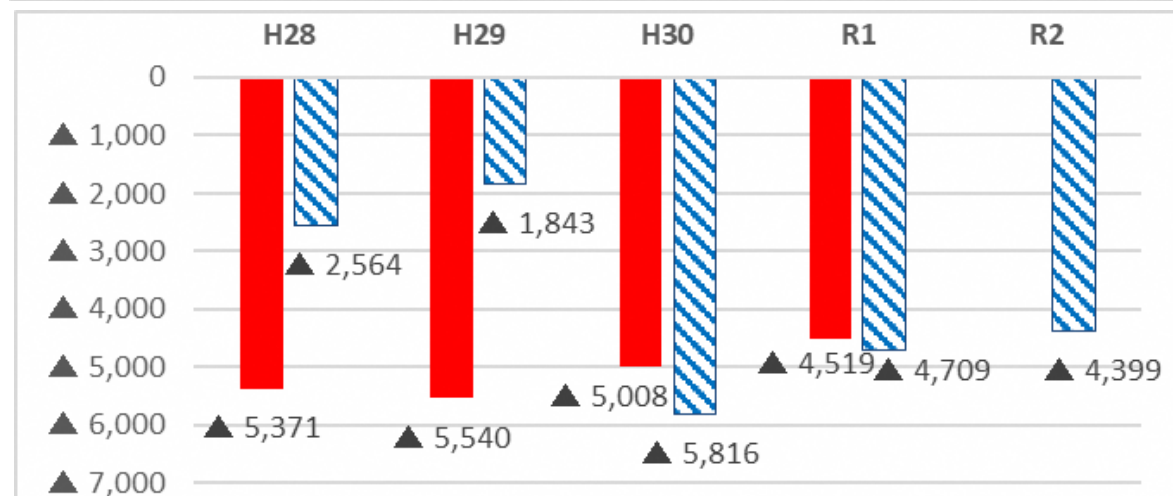
第4期病院改革プランに対しても順調に進捗している。医業収益はR2プラン値を超え、
医業収支もR1目標値を達成した

医業
収益

第3期プラン

第4期プラン

(単位:百万円、税込)

医業
収支

新型コロナウイルス感染症の影響で、前年同期と比べ医業収益で約5億円減収となり、医業収支で約5億円悪化した。また、医業収支は、対目標（予算）でも約2億円未達である。

R2第1四半期

R1第1四半期

R2第1四半期 予算

4-6月累計

(千円・税込)

	実績(R2)	構成比	前年(R1)	構成比	前年比	前年差	目標(R1)	構成比	目標比	目標差
医業収益	3,465,055	100.0%	3,963,363	100.0%	-12.6%	▲ 498,308	3,970,772	100.0%	-12.7%	▲ 505,717
入院	2,399,662	69.3%	2,783,920	70.2%	-13.8%	▲ 384,258	2,821,216	71.0%	-14.9%	▲ 421,553
外来	1,000,813	28.9%	1,087,305	27.4%	-8.0%	▲ 86,492	1,068,984	26.9%	-6.4%	▲ 68,171
その他	54,222	1.6%	82,781	2.1%	-34.5%	▲ 28,559	80,573	2.0%	-32.7%	▲ 26,351
医業費用	5,455,792	157.5%	5,440,396	137.3%	0.3%	15,396	5,765,797	145.2%	-5.4%	▲ 310,005
給与費	3,032,859	87.5%	3,029,006	76.4%	0.1%	3,853	3,355,072	84.5%	-9.6%	▲ 322,214
材料費	1,013,125	29.2%	995,411	25.1%	1.8%	17,714	941,749	23.7%	7.6%	71,376
経費	985,292	28.4%	975,392	24.6%	1.0%	9,901	1,039,219	26.2%	-5.2%	▲ 53,927
減価償却費	402,620	11.6%	414,026	10.4%	-2.8%	▲ 11,406	402,620	10.1%	0.0%	0
その他	21,896	0.6%	26,561	0.7%	-17.6%	▲ 4,665	27,137	0.7%	-19.3%	▲ 5,240
広義人件費	3,734,468	107.8%	3,714,319	93.7%	0.5%	20,148	4,090,431	103.0%	-8.7%	▲ 355,964
修正医業収支	▲ 1,584,206	—	▲ 1,057,464	—	-49.8%	▲ 526,742	▲ 1,387,865	—	-14.1%	▲ 196,341
医業収支	▲ 1,990,737	—	▲ 1,477,033	—	-34.8%	▲ 513,704	▲ 1,795,025	—	-10.9%	▲ 195,713

※ 広義人件費＝給与費＋委託費＋報償費

※ 修正医業収支＝医業収益－（医業費用－減価償却費－資産減耗費－その他除外費用（あり方））

	実績(R2)	前年(R1)	前年差	目標(R2)	目標差
医業収支比率	63.5%	72.9%	-9.3%	68.9%	-5.4%
修正医業収支比率	68.6%	78.9%	-10.3%	74.1%	-5.5%
給与費対医業収支比率	87.5%	76.4%	11.1%	84.5%	3.0%
材料費対医業収支比率	29.2%	25.1%	4.1%	23.7%	5.5%
経費対医業収支比率	28.4%	24.6%	3.8%	26.2%	2.3%

- 令和元年度振り返り
 - ✓ 全体
 - ✓ 青葉病院
 - ✓ 海浜病院
 - ✓ 支援パートナー活動振り返り
- (参考) R1年度損益計算書(青葉病院・海浜病院・本部)

業績

- 医業収支は▲2,306であり、対前年度で5.5億円の改善が見られ、第4期プランの令和元年度の医業収支目標(▲2,426)を達成することができた
- 対前年度で、新規入院患者数が増加し、DPCの入院期間等を意識したベッドコントロールなどの取り組みにより、医業収益は対前年度で約7億円改善した
- 医業費用は、薬品費が増加したが、経費や減価償却費が削減され、対前年度で1.4億円医業費用が増加した。一方、予算と比較すると、4億円費用を抑えられた。

取組
進捗

(収益増)

- 耳鼻科の医師減、整形外科の競合病院体制強化による患者減などあったものの、ベッドコントロール、HCU1届け出などの取り組みを行った。

(費用削減)

- 支援パートナーと共同で、材料費や委託費の見直し、費用削減を行った

課題

(収益増)

- 医師数減の診療科の減収食い止め、集患ポテンシャルの高い診療科における地域連携強化の取り組みを推進する。

(費用削減)

- 医薬品の交渉(両病院共通)、診療材料ベンチマーク可視化、委託契約の複数年契約へ見直しの検討(検体検査業務委託、ベッドリネン管理業務委託、中央材料室滅菌業務など)を図るなど、昨年着手できなかった領域について費用削減施策を実行する
- 地域ニーズに鑑みながら、病床機能の検討を行う

将来
展望

令和元年度は前年度に対して医業収益で6.9億円、医業収支で5.6億円の改善が見られた。
また医業収支は予算に対して+1.6億円と大幅に予算を超える改善を示した。

(単位: 百万円、税込)

	R1		H30				R1予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業収益	9,715	100.0%	9,025	100.0%	7.6%	690	9,161	100.0%	6.0%	553
入院収益	6,827	70.3%	6,367	70.6%	7.2%	460	6,564	71.7%	4.0%	262
外来収益	2,696	27.8%	2,466	27.3%	9.3%	230	2,411	26.3%	11.8%	285
その他	192	2.0%	182	2.0%	5.5%	10	186	2.0%	3.1%	6
医業費用	12,020	123.7%	11,885	131.7%	1.1%	135	11,622	126.9%	3.4%	399
職員給与費	6,017	61.9%	5,903	65.4%	1.9%	114	6,036	65.9%	-0.3%	▲19
材料費	3,124	32.2%	2,562	28.4%	22.0%	563	2,658	29.0%	17.6%	467
薬品費	2,213	22.8%	1,707	18.9%	29.7%	506	1,830	20.0%	21.0%	383
診療材料費	905	9.3%	848	9.4%	6.8%	58	819	8.9%	10.5%	86
経費	2,036	21.0%	2,095	23.2%	-2.9%	▲60	2,054	22.4%	-0.9%	▲18
報償費	160	1.6%	173	1.9%	-7.2%	▲12	157	1.7%	1.9%	3
委託料	1,231	12.7%	1,273	14.1%	-3.3%	▲42	1,220	13.3%	1.0%	12
その他経費	644	6.6%	649	7.2%	-0.8%	▲5	677	7.4%	-4.9%	▲33
減価償却費	782	8.1%	1,273	14.1%	-38.6%	▲491	796	8.7%	-1.7%	▲14
資産減耗費	18	0.2%	6	0.1%	179.5%	12	18	0.2%	2.5%	0
研究研修費	43	0.4%	45	0.5%	-4.3%	▲2	61	0.7%	-29.0%	▲18
医業収支	-2,306	—	-2,861	—	-19.4%	555	-2,461	—	-6.3%	155
医業外収益	3,145	—	3,425	—	-8.2%	▲280	3,345	—	-6.0%	▲201
医業外費用	346	—	360	—	-3.9%	▲14	360	—	-3.9%	▲14
経常収支	493	—	204	—	141.3%	288	525	—	-6.2%	▲32
修正医業収支	-1,470	—	-1,545	—	-4.9%	75	-1,618	—	-9.1%	148
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	7,408	76.3%	7,349	81.4%	0.8%	59	7,412	80.9%	-0.1%	▲4

	R1 実績	H30 実績	前年差	R1 予算	予算差
医業収支比率	80.8%	75.9%	4.9%	78.8%	2.0%
経常収支比率	104.0%	101.7%	2.3%	104.4%	-0.4%
修正医業収支比率	86.6%	85.1%	1.5%	84.8%	1.8%

入院収益関連指標をみると、令和元年度は、入院単価・入院延べ患者数・新規入院患者数が5年間の中で最高値である。また、医業費用関連指標をみると、給与費対医業収支比率及び経費対医業収支比率が過去5年間の中で最も低くなっている。

	H27	H28	H29	H30	R1
入院収益(百万円、税込)	6,073	6,149	6,135	6,377	6,827
(対前年比)	8.8%	1.3%	-0.2%	3.9%	7.1%
入院単価(円)	57,217	57,892	58,338	59,498	60,640
(対前年比)	-3.7%	1.2%	0.8%	2.0%	1.9%
入院延べ患者数(人)	106,141	106,222	105,160	107,178	112,576
(対前年比)	13.0%	0.1%	-1.0%	1.9%	5.0%
病床稼働率	76.3%	76.6%	75.8%	77.3%	83.4%
(対前年比)	12.7%	0.4%	-1.0%	1.9%	7.9%
新規入院患者数(人)	7,472	7,503	7,155	7,769	7,864
(対前年比)	2.8%	0.4%	-4.6%	8.6%	1.2%
平均在院日数(日)	13.3	13.2	13.7	12.9	13.3
(対前年比)	10.8%	-0.8%	3.8%	-5.8%	3.1%
外来収益(百万円、税込)	2,132	2,217	2,303	2,466	2,696
(対前年比)	9.5%	4.0%	3.9%	7.1%	9.3%
外来単価(円)	10,442	10,815	10,960	11,579	12,944
(対前年比)	7.0%	3.6%	1.3%	5.6%	11.8%
外来患者数(人)	204,150	204,946	210,147	212,952	208,285
(対前年比)	2.3%	0.4%	2.5%	1.3%	-2.2%
医業費用(百万円、税込)	10,871	11,263	11,619	11,885	12,020
(対前年比)	6.0%	3.6%	3.2%	2.3%	1.1%
給与費対医業収支比率(税込)	63.1%	64.1%	67.7%	65.4%	61.9%
(対前年比)	3.8%	1.6%	5.6%	-3.4%	-5.3%
材料費対医業収支比率(税込)	27.8%	28.0%	29.1%	28.4%	32.2%
(対前年比)	-0.7%	0.7%	3.9%	-2.4%	13.3%
経費対医業収支比率(税込)	25.9%	24.8%	22.6%	23.2%	21.0%
(対前年比)	-17.3%	-4.2%	-8.9%	2.7%	-9.7%

令和年度は、紹介率が過去 5 年間で最も高く、平成 30 年度よりも件数は少なくなったが 4,548 件の救急車を受け入れることで、新規入院患者数は過去 5 年間で最高値である。

	H27	H28	H29	H30	R1
入院延べ患者数(人)	106,141	106,222	105,160	107,178	112,576
(対前年比)	13.0%	0.1%	-1.0%	1.9%	5.0%
紹介患者数(人)	10,797	9,448	9,339	9,980	9,918
(対前年比)	2.9%	-12.5%	-1.2%	6.9%	-0.6%
救急車搬送数(件)	3,756	4,277	4,334	4,966	4,548
(対前年比)	8.1%	13.9%	1.3%	14.6%	-8.4%
紹介率	72.8%	68.9%	68.2%	71.9%	77.0%
逆紹介率	79.4%	81.3%	79.9%	90.5%	87.2%

医業費用は、血液内科の患者数増により、抗がん剤などの薬品費が増加した。
予算と比較して 4 億円費用を抑えられた。

(単位: 百万円、税込)

	R1		H30				R1 予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業費用	12,020	123.7%	11,885	131.7%	1.1%	135	11,622	126.9%	3.4%	399
職員給与費	6,017	61.9%	5,903	65.4%	1.9%	114	6,036	65.9%	-0.3%	▲19
材料費	3,124	32.2%	2,562	28.4%	22.0%	563	2,658	29.0%	17.6%	467
薬品費	2,213	22.8%	1,707	18.9%	29.7%	506	1,830	20.0%	21.0%	383
診療材料費	905	9.3%	848	9.4%	6.8%	58	819	8.9%	10.5%	86
経費	2,036	21.0%	2,095	23.2%	-2.9%	▲60	2,054	22.4%	-0.9%	▲18
報償費	160	1.6%	173	1.9%	-7.2%	▲12	157	1.7%	1.9%	3
委託料	1,231	12.7%	1,273	14.1%	-3.3%	▲42	1,220	13.3%	1.0%	12
その他経費	644	6.6%	649	7.2%	-0.8%	▲5	677	7.4%	-4.9%	▲33
減価償却費	782	8.1%	1,273	14.1%	-38.6%	▲491	796	8.7%	-1.7%	▲14
資産減耗費	18	0.2%	6	0.1%	179.5%	12	18	0.2%	2.5%	0
研究研修費	43	0.4%	45	0.5%	-4.3%	▲2	61	0.7%	-29.0%	▲18
広義人件費(給与費+報償費+委託費)	7,408	76.3%	7,349	81.4%	0.8%	59	7,412	80.9%	-0.1%	▲4

新型コロナウイルス感染症の影響で、前年同期と比べ医業収益で約 3 億円減収となり、医業収支は約3億円悪化した。修正医業収支も前年同期と比べ約 3 億円悪化した。医業収支・修正医業収支ともに、目標（予算）値は未達（約 1 億円）。

R2第1四半期

R1第1四半期

R2第1四半期 予算

4-6月累計

(千円・税込)

	実績(R2)	構成比	前年(R1)	構成比	前年比	前年差	目標(R2)	構成比	目標比	目標差
医業収益	2,043,648	100.0%	2,316,430	100.0%	-11.8%	▲ 272,781	2,167,176	100.0%	-5.7%	▲ 123,527
入院	1,345,255	65.8%	1,597,060	68.9%	-15.8%	▲ 251,805	1,533,850	70.8%	-12.3%	▲ 188,595
外来	662,107	32.4%	663,071	28.6%	-0.1%	▲ 964	587,869	27.1%	12.6%	74,238
その他	25,928	1.3%	46,942	2.0%	-44.8%	▲ 21,014	45,457	2.1%	-43.0%	▲ 19,529
医業費用	3,050,566	149.3%	3,023,536	130.5%	0.9%	27,030	3,079,923	142.1%	-1.0%	▲ 29,357
給与費	1,618,124	79.2%	1,619,563	69.9%	-0.1%	▲ 1,439	1,752,687	80.9%	-7.7%	▲ 134,563
材料費	739,021	36.2%	716,773	30.9%	3.1%	22,247	617,561	28.5%	19.7%	121,460
経費	486,487	23.8%	474,365	20.5%	2.6%	12,122	499,249	23.0%	-2.6%	▲ 12,762
減価償却費	195,359	9.6%	197,833	8.5%	-1.3%	▲ 2,474	195,359	9.0%	0.0%	0
その他	11,576	0.6%	15,002	0.6%	-22.8%	▲ 3,426	15,067	0.7%	-23.2%	▲ 3,491
広義人件費	1,958,049	95.8%	1,947,003	84.1%	0.6%	11,046	2,097,372	96.8%	-6.6%	▲ 139,323
修正医業収支	▲ 809,692	—	▲ 505,991	—	-60.0%	▲ 303,702	▲ 714,893	—	-13.3%	▲ 94,799
医業収支	▲ 1,006,918	—	▲ 707,107	—	-42.4%	▲ 299,811	▲ 912,747	—	-10.3%	▲ 94,171

	R2見込	前年(R1)	前年差	目標(R2)	目標差
医業収支比率	67.0%	76.6%	-9.6%	70.4%	-3.4%
修正医業収支比率	71.6%	82.1%	-10.4%	75.2%	-3.6%
給与費対医業収支比率	79.2%	69.9%	9.3%	80.9%	-1.7%
材料費対医業収支比率	36.2%	30.9%	5.2%	28.5%	7.7%
経費対医業収支比率	23.8%	20.5%	3.3%	23.0%	0.8%

※ 本部分の費用等は含まれていない。

- 令和元年度振り返り
 - ✓ 全体
 - ✓ 青葉病院
 - ✓ 海浜病院
 - ✓ 支援パートナー活動振り返り
- (参考) R1年度損益計算書(青葉病院・海浜病院・本部)

業績

- ・ 医業収支は▲2,213百万円で、前年度からわずかに(6,500万円)悪化したが、R1予算と比べると、医業収支は1.9億円改善した。
- ・ 新規入院患者数や救急搬送患者数は増加するも、新型コロナウイルスの影響で、1月以降の外来収益の落ち込みもあり、医業収益は対前年度と同水準となった。
- ・ 医業費用は、昨年度と比べ、職員給与費や修繕費の増加により、若干増加した(+6,600万円)。

取組
進捗

(収益増)

- ・ 地域連携強化、救急受け入れ強化の取り組みによる紹介患者数、および入院患者数の増加
- ・ 総合入院体制加算、退院時リハビリテーション指導料、診療情報提供料などの届出、算定強化のための取り組みによる増収

(費用削減)

- ・ 採用を抑制し、人件費率が大幅に改善。その他費用についても抑制状態を維持した

課題

(収益増)

- ・ 高齢者受入れのための診療科整備を継続する
- ・ 救急診療強化にともない、救急と連携したスムーズな患者受け入れ態勢の構築を行う
- ・ 集患施策の継続。特に落ち込みが見られた外科、消化器内科についても集患施策を実行していくとともに、心臓血管外科、循環器内科等ポテンシャルの大きい診療科での地域連携強化
- ・ 総合入院体制加算届出やDPC分析体制強化など、診療単価向上のための施策立案・実施

(費用削減)

- ・ 医薬品交渉(両病院共通)や診療材料ベンチマークによる可視化、委託契約の複数年化など昨年度実施できなかった施策を実行する
- ・ 周産期、小児、移行期医療で差別化する
- ・ 地域の高齢者医療を担うべく、診療体制の強化を行っていく
- ・ 上記の実現のためにも、ホスピタリストを育成していく

将来
展望

R1年度は、対前年で医業収益は横ばいとなり、医業収支は▲2,213百万円で、前年度からわずかに（6,500万円）悪化。ただ、R1予算と比べると、医業収支は1.9億円改善した。

(単位: 百万円、税込)

	R1		H30				R1予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業収益	6,648	100.0%	6,647	100.0%	0.0%	1	6,934	100.0%	-4.1%	▲286
入院収益	4,762	71.6%	4,731	71.2%	0.6%	30	4,846	69.9%	-1.7%	▲85
外来収益	1,737	26.1%	1,775	26.7%	-2.2%	▲38	1,941	28.0%	-10.5%	▲205
その他	149	2.2%	140	2.1%	6.1%	9	146	2.1%	2.1%	3
医業費用	8,861	133.3%	8,794	132.3%	0.8%	66	9,337	134.7%	-5.1%	▲476
職員給与費	4,887	73.5%	4,814	72.4%	1.5%	73	5,086	73.3%	-3.9%	▲199
材料費	1,163	17.5%	1,228	18.5%	-5.3%	▲65	1,306	18.8%	-11.0%	▲143
薬品費	653	9.8%	693	10.4%	-5.8%	▲40	755	10.9%	-13.5%	▲102
診療材料費	503	7.6%	527	7.9%	-4.6%	▲24	539	7.8%	-6.8%	▲36
経費	1,922	28.9%	1,865	28.1%	3.1%	57	2,029	29.3%	-5.3%	▲107
報償費	290	4.4%	275	4.1%	5.5%	15	287	4.1%	1.3%	4
委託料	1,116	16.8%	1,117	16.8%	-0.1%	▲1	1,141	16.5%	-2.2%	▲26
その他経費	516	7.8%	473	7.1%	9.1%	43	601	8.7%	-14.1%	▲85
減価償却費	851	12.8%	842	12.7%	1.0%	8	865	12.5%	-1.6%	▲14
資産減耗費	4	0.1%	9	0.1%	-54.5%	▲5	9	0.1%	-53.7%	▲5
研究研修費	34	0.5%	36	0.5%	-4.7%	▲2	43	0.6%	-20.0%	▲9
医業収支	-2,213	—	-2,148	—	3.0%	▲65	-2,403	—	-7.9%	190
医業外収益	2,115	—	2,134	—	-0.9%	▲19	2,278	—	-7.1%	▲163
医業外費用	53	—	36	—	44.6%	16	75	—	-29.5%	▲22
経常収支	-151	—	-50	—	202.8%	▲101	-200	—	-24.7%	50
修正医業収支	-1,334	—	-1,296	—	2.9%	▲38	-1,507	—	-11.5%	173
広義人件費(給与費＋報償費＋委託費)	6,293	94.7%	6,206	93.4%	1.4%	87	6,514	93.9%	-3.4%	▲221

	R1 実績	H30 実績	前年差	R1 予算	予算差
医業収支比率	75.0%	75.6%	-0.6%	74.3%	0.8%
経常収支比率	98.3%	99.4%	-1.1%	97.9%	0.4%
修正医業収支比率	83.0%	83.7%	-0.6%	81.9%	1.1%

入院収益関連指標をみると、R1年度は、入院単価が昨年度よりは低くなった（ただ、7万円台を維持）。また、新規入院患者数が5年間の中で最高値となった。

	H27	H28	H29	H30	R1
入院収益(百万円、税込)	4,888	4,308	4,373	4,731	4,762
(対前年比)	-6.2%	-11.9%	1.5%	8.2%	0.6%
入院単価(円)	66,786	65,641	65,010	71,747	70,015
(対前年比)	-2.1%	-1.7%	-1.0%	10.4%	-2.4%
入院延べ患者数(人)	73,190	65,635	67,274	65,943	68,009
(対前年比)	-4.2%	-10.3%	2.5%	-2.0%	3.1%
病床稼働率	69.7%	62.7%	63.6%	61.7%	63.4%
(対前年比)	-4.4%	-10.1%	1.4%	-3.0%	2.9%
新規入院患者数(人)	7,427	7,119	7,401	7,734	7,923
(対前年比)	0.2%	-4.1%	4.0%	4.5%	2.4%
平均在院日数(日)	8.8	8.2	8.1	7.6	7.7
(対前年比)	-5.4%	-6.8%	-1.2%	-6.2%	1.3%
外来収益(百万円、税込)	1,797	1,705	1,751	1,775	1,737
(対前年比)	12.1%	-5.1%	2.7%	1.4%	-2.2%
外来単価(円)	12,127	12,374	12,632	12,657	12,762
(対前年比)	10.3%	2.0%	2.1%	0.2%	0.8%
外来患者数(人)	148,151	137,754	138,622	140,247	136,097
(対前年比)	1.6%	-7.0%	0.6%	1.2%	-3.0%
医業費用(百万円、税込)	8,695	8,825	8,827	8,794	8,861
(対前年比)	2.3%	1.5%	0.0%	-0.4%	0.8%
給与費対医業収益比率(税込)	67.7%	79.0%	76.8%	72.4%	73.5%
(対前年比)	7.0%	16.7%	-2.8%	-5.7%	1.5%
材料費対医業収益比率(税込)	21.7%	20.0%	20.1%	18.5%	17.5%
(対前年比)	-3.1%	-7.8%	0.5%	-8.0%	-5.5%
経費対医業収益比率(税込)	29.7%	30.8%	30.1%	28.1%	28.9%
(対前年比)	4.9%	3.7%	-2.3%	-6.6%	2.9%

※ H27 心臓血管外科の新規患者受入停止

紹介患者数、救急搬送数ともに、5年間の中で最高値である。

特に、R1年度中に、救急科が新設されたことにより、救急車搬送件数が1,000件以上増加している。

	H27	H28	H29	H30	R1
入院延べ患者数	73,190	65,635	67,274	65,943	68,009
(対前年比)	-4.2%	-10.3%	2.5%	-2.0%	3.1%
紹介患者数(人)	7,076	7,426	7,723	8,295	8,581
(対前年比)	5.2%	4.9%	4.0%	7.4%	3.4%
救急車搬送数(件)	2,259	2,588	3,100	3,552	4,762
(対前年比)	9.2%	14.6%	19.8%	14.6%	34.1%
紹介率	59.6%	66.9%	65.3%	68.7%	72.4%
逆紹介率	90.0%	73.5%	52.0%	49.3%	58.9%

※ H27 心臓血管外科の新規患者受入停止

昨年度と比較し、医業費用は若干増加した（＋6,600万円）。

予算と比較して4.8億円医業費用を抑えられた。

職員給与費は、対前年度と比べて増加した（＋7,300万円）。

材料費は医業収益が対前年度と同水準であるにもかかわらず、減少した（－6,600万円）。

経費では、「その他経費」のうち主に修繕費が増加した（＋3,400万円）。

（単位：百万円、税込）

	R1		H30				R1 予算			
	実績	構成比		構成比	前年比	前年差		構成比	予算比	予算差
医業費用	8,861	133.3%	8,794	132.3%	0.8%	66	9,337	134.7%	-5.1%	▲476
職員給与費	4,887	73.5%	4,814	72.4%	1.5%	73	5,086	73.3%	-3.9%	▲199
材料費	1,163	17.5%	1,228	18.5%	-5.3%	▲65	1,306	18.8%	-11.0%	▲143
薬品費	653	9.8%	693	10.4%	-5.8%	▲40	755	10.9%	-13.5%	▲102
診療材料費	503	7.6%	527	7.9%	-4.6%	▲24	539	7.8%	-6.8%	▲36
経費	1,922	28.9%	1,865	28.1%	3.1%	57	2,029	29.3%	-5.3%	▲107
報償費	290	4.4%	275	4.1%	5.5%	15	287	4.1%	1.3%	4
委託料	1,116	16.8%	1,117	16.8%	-0.1%	▲1	1,141	16.5%	-2.2%	▲26
その他経費	516	7.8%	473	7.1%	9.1%	43	601	8.7%	-14.1%	▲85
減価償却費	851	12.8%	842	12.7%	1.0%	8	865	12.5%	-1.6%	▲14
資産減耗費	4	0.1%	9	0.1%	-54.5%	▲5	9	0.1%	-53.7%	▲5
研究研修費	34	0.5%	36	0.5%	-4.7%	▲2	43	0.6%	-20.0%	▲9
広義人件費（給与費＋報償費＋委託費）	6,293	94.7%	6,206	93.4%	1.4%	87	6,514	93.9%	-3.4%	▲221

新型コロナウイルス感染症の影響で、前年同期と比べ医業収益で約2.3億円減収となり、医業収支は約2.4億円悪化した。修正医業収支も前年同期と比べ約2.5億円悪化した。また、医業収支・修正医業収支ともに、目標(予算)値は未達(約1億円)。

R2 第1四半期

R1 第1四半期

R2 第1四半期 予算

4-6月累計

(千円・税込)

	実績(R2)	構成比	前年(R1)	構成比	前年比	前年差	目標(R2)	構成比	目標比	目標差
医業収益	1,421,407	100.0%	1,646,933	100.0%	-13.7%	▲ 225,526	1,803,588	100.0%	-21.2%	▲ 382,181
入院	1,054,407	74.2%	1,186,860	72.1%	-11.2%	▲ 132,453	1,287,366	71.4%	-18.1%	▲ 232,959
外来	338,705	23.8%	424,234	25.8%	-20.2%	▲ 85,529	481,115	26.7%	-29.6%	▲ 142,410
その他	28,294	2.0%	35,839	2.2%	-21.1%	▲ 7,545	35,107	1.9%	-19.4%	▲ 6,813
医業費用	2,316,286	163.0%	2,305,823	140.0%	0.5%	10,463	2,599,095	144.1%	-10.9%	▲ 282,809
給与費	1,346,686	94.7%	1,333,184	80.9%	1.0%	13,502	1,537,475	85.2%	-12.4%	▲ 190,789
材料費	274,104	19.3%	278,638	16.9%	-1.6%	▲ 4,533	324,188	18.0%	-15.4%	▲ 50,084
経費	479,290	33.7%	467,781	28.4%	2.5%	11,509	519,684	28.8%	-7.8%	▲ 40,394
減価償却費	206,082	14.5%	214,973	13.1%	-4.1%	▲ 8,891	206,082	11.4%	0.0%	0
その他	10,124	0.7%	11,247	0.7%	-10.0%	▲ 1,123	11,666	0.6%	-13.2%	▲ 1,542
広義人件費	1,696,329	119.3%	1,666,675	101.2%	1.8%	29,654	1,916,125	106.2%	-11.5%	▲ 219,796
修正医業収支	▲ 686,754	—	▲ 441,658	—	-55.5%	▲ 245,096	▲ 587,381	—	-16.9%	▲ 99,372
医業収支	▲ 894,880	—	▲ 658,890	—	-35.8%	▲ 235,990	▲ 795,507	—	-12.5%	▲ 99,372

	R2見込	前年(R1)	前年差	目標(R2)	目標差
医業収支比率	61.4%	71.4%	-10.1%	69.4%	-8.0%
修正医業収支比率	67.4%	78.9%	-11.4%	75.4%	-8.0%
給与費対医業収支比率	94.7%	80.9%	13.8%	85.2%	9.5%
材料費対医業収支比率	19.3%	16.9%	2.4%	18.0%	1.3%
経費対医業収支比率	33.7%	28.4%	5.3%	28.8%	4.9%

※ 本部分の費用等は含まれていない。